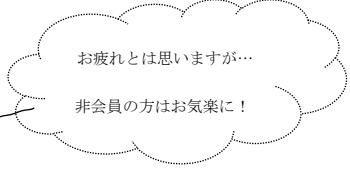


1. 目的

- 1) 「で…、各地域で具体的に何をすればいいの？」 を一緒に考えましょう
  - ・我々の取り組みが少しでも参考になれば…（事業の成果報告等ではありません）
- 2) 推進リーダー取得の目的を明確にしませんか？
  - ・個人・資格 → 倫理、収入、地域作り、夢、何となく、上司命令…
  - ・職能団体や所属事業所 → 発展、将来不安
- 3) PT 協会が示している地域事業の例を確認しましょう。
  - ・通所・訪問型介護予防事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、講師(住民・専門職)、地域77個別・地域包括推進会議

2. 振り返りましょう

- 1) 場を共有する人には、当事者としての責任があります（齋藤孝）
  - 2) 地域事業などへの参加に際し、コミュニケーションを再考しませんか
    - 【自分⇄刺激】 立場、熱意、知識、経験、資格等への意識
    - 【非・準言語】 興味、同意、<sup>うなづき</sup> 頷き、笑み、語気… ⇄ 【言語】 きちんと質問内容に答える
    - 【当事者意識】 場の空気が悪い時の介入、合意形成に向けた発言…
- 能動的学び (active learning) の意識 (地域でも 当事者識が重要!)**



3. 自己紹介 (詳細スライド参照)

- ・(医) 英静会 介護保険事業 統括責任者  
(経営・人事から防火管理まで何でも…)
- ・聖徳大学 社会福祉学科 非常勤講師 (H20.～、…介護福祉士や社会福祉士の養成)
- ・その他 … 介護認定審査委員、地域事業 (地域包括支援センター…)、(第 27 回介護福祉士国家試験実地試験委員)

介護老人保健施設 (入所+ショート、デイケア、訪問リ)、デイサービス、グループホーム、ヘルパーステーション、ケアセンター、地域包括支援センター、※訪問開設予定

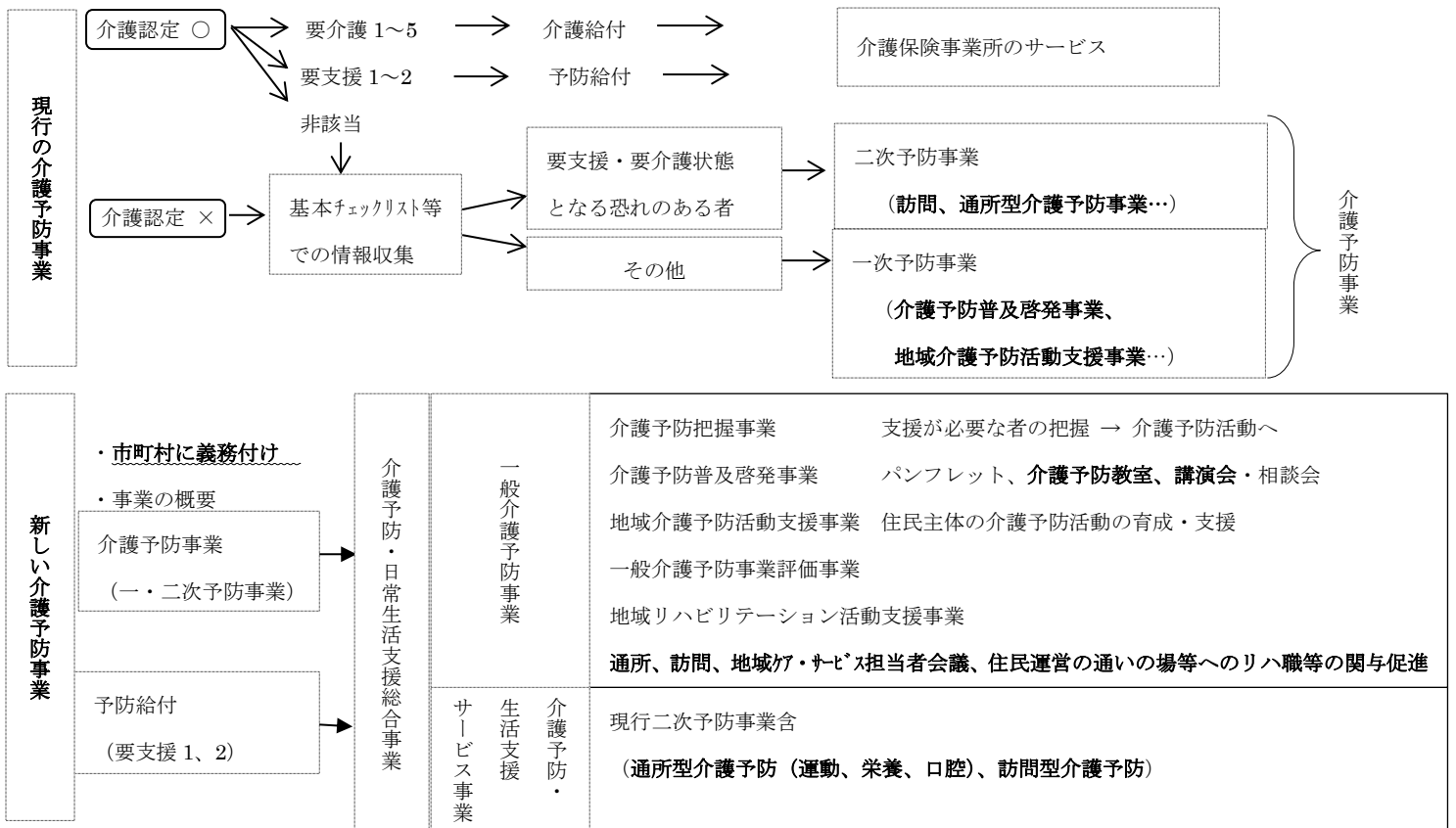
4. 確認すべき介護予防の基本

- ☑ 軽度者の原因疾患の約半数は体を動かさない事による心身機能の低下 (H18) → 定期的に体を動かす→予防可能 (予防重視)
  - ※スポーツ・ボランティア・趣味のグループ等
- ☑ 社会参加、社会的役割を持つ事が生きがいや介護予防に… 社会参加\*の割合が高い地域 → 転倒や認知症やうつが低リスク
- ☑ ICF の心身機能+活動 (高める) + 参加 (促し) 等にバランスよく働きかける (生活機能=人が生きていくための機能全体)
- ☑ 自立支援 \*リハ職を活かした自立支援に資する取組を推進し、介護予防を強化する、\*介護保険法の理念
- ☑ 高齢者リハビリテーションのイメージ “終了の考え、hands on → hands off も考慮



- ☑ QOL 向上 → QOL をどう考え、説明しますか？
- ☑ 厚生労働省資料のリハビリ職活用部分の引用 (HP をご参照ください)
  - ・ケースカンファ参加により疾病の特徴を踏まえた生活行為の改善見通しを立てることが可能
    - 要支援者等の有する能力を最大限に引き出すための方法を検討しやすくなる
  - ・通所と訪問双方に一貫して集中的に関わることで、居宅や地域での生活環境を踏まえた適切なアセスメントに基づく ADL・IADL 訓練を提供
    - 「活動」を高めることが出来る
  - ・住民運営の通いの場で、参加者の状態に応じ、安全な動き方、適切な助言を行う → 生活機能低下の程度に拘らず様々な高齢者の参加が可能
- \* 分かっているつもりでも、結局いつもの機能面だけの発言をしていませんか？

5. 新しい介護予防事業の概要確認



6. 日光市における介護予防の実践と地域への関わり

1) 日光市の状況

- \*人口減少傾向
- \*高齢化率上昇 27.4 (75 才~15.78%、65 才~31.16%)
- \*要支援・要介護認定者増加傾向
- \*面積が広く人口が偏在
- \*地域特性が強く、課題が大きく異なるケースが多い?
- \*包括支援センターは直営含め 6カ所
- \*市長申立て件数が多く、行政が協力的など

高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の基本理念



2) まずは介護予防事業が具体的にどこで行われ、だれが関わっているのか理解することが重要

日光市、包括、社協、自治会、民生委員、老人会、婦人会、趣味サークル、医師会、看護協会、サービス事業者・ケアマネ連絡協議会...

3) 既に実施されていた介護予防事業への協力

I) 地域包括支援センター

二次予防事業における通所介護予防事業 (はつらつ教室)

目的；運動機能、口腔機能の低下及び栄養改善が必要である二次予防対象者に対し、介護予防の知識を伝達し、心身の状況の安定を図る共に知りえた知識を継続的に活用できるよう、参加者の交流を促し仲間づくりの場とする。

概要；春、秋、冬コースに計6会場で開催し、口腔、栄養、運動、体操、体力測定、脳トレなどの講和や実技

訪問型介護予防事業

目的；二次予防対象者の認知症・うつ病・閉じ籠り状態を早期発見し、介護を受け寝たきりになつたりせず制限なく健康生活を送れるよう支援

概要；チェックリストやアセスメント内容により保健指導を行う。

II) 大沢地区社会福祉協議会

地域住民同士の交流を通じた生きがい活動、健康づくりに関する事、趣味やレクリエーションに関する事、その他必要な事業

☑ ふれあい交流会 (3か所) 23.10～ (65歳以上の高齢者)

目的；一人暮らし高齢者や家に閉じこもりがちの高齢者に対し、地域の自治公民館等を活用し交流の場を提供することによって、高齢者の生きがいと社会参加を促し、社会的孤独感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的とする。

内容；3か所の自治会における各2時間程度の「遊びリレーションの企画運営」



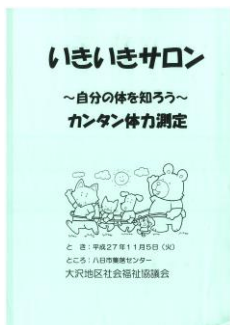
☑ いきいきサロン事業

目的；外出の機会が少ない一人暮らしの高齢者や子育て中の方、障害者の方など地域住民が住み慣れた地域で気軽に集える場を提供することで閉じこもりを防ぎ孤独感や不安感を解消するとともに社会活動への参加促進につなげることを目的とする。

内容；事前に提案した内容から各自治会が要望したテーマを実施（今年度は2か所）

平成27年度 いきいきサロン一覧

内容	実施	定員	時間
1. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
2. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
3. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
4. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
5. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
6. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
7. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
8. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
9. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
10. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
11. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
12. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
13. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
14. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
15. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
16. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
17. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
18. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
19. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00
20. 大沢地区社会福祉協議会	大沢地区社会福祉協議会	20	10:00-12:00



チラシです



☑ 大沢地区ふれあいフェスティバル派遣

内容；年1回の大沢地区センターでの全市民対象のフェスティバルにおける介護教室での指導



☑ ボランティア研修講師 1.5時間 単発事業

III) 塩野室社会福祉協議会の介護予防事業

☑ 介護者交流会

IV) その他地域での取り組み

【講演】日光市コミュニティーケア研究会「地域包括ケアシステムを意識したリハビリテーション」

パーキンソン友の会「病気と共に前向きに生きるためのリハビリについて」

理学療法週間&介護予防推進キャンペーン「自宅で実践できる健康増進と介護予防」

【講義】認知症対応型サービス事業管理者研修講師

【地域】地域包括ケア推進会議委員、介護認定審査委員、調査員向けROM資料作成

4) 当施設で独自に始めた介護予防事業 (H20. ～)

介護予防教室モリもり塾 (スライド参照)

大沢地区社協様にご協力頂いています

会場利用、お茶の提供、チラシ配布、送迎時の保険加入等

- (目的) リハビリの啓蒙と事業所の PR、職員プレゼンの場
- (頻度) 月 1 回
- (場所) 大沢地区センター
- (料金) 原則無料
- (送迎) 一部の方のみ施設車両で送迎
- (内容) 講義、体力測定、グループワーク、外出レク (人気) …
- (課題) 経営者や職場上司の理解、交通手段の確保  
参加者の減少 (ソーシャルワークや PR 方法)



雑誌紹介されました

外出レクは人気です

新聞社に開催案内を掲載頂きました



5) 地域事業・介護予防事業協力におけるポイントと考えている点

【詳細はその他口頭で！】

- ☑ 様々な意味で、将来への投資と考えています
  - ・専門性や事業所の理解・知名度向上により、業務に還元される
  - ・職員教育の場
  - ・地域づくりによる家族や自身の老後の安心
  - ・まずはボランティアから必要性に応じ継続可能な財源確保を考え、すぐにビジネス的結果を求めない
- ☑ 新規参入、新参者の意識
  - ・根拠や正しさを理解してくれないと考えず、自身のプレゼン不足や理解不足と考える
  - ・地域や担当のニーズを理解し、全体像を把握した上で専門性を発揮する
  - ・地域づくりは黒子意識で (主体は地域住民)、参加者のみならず地域の自立支援を促す
  - ・世話焼き的な参加意識が重要 (“お客様” や “先生様” にならない)
  - ・同僚の理解、経営者の理解を得るプレゼン能力
- ☑ セラピストとして出来ることを常に再考する
  - ・ICF の生活機能の視点を理解し、心身機能、活動、参加にバランスよく働きかけ、自立支援の視点を失わない
  - ・人生を語りあわずして QOL が語れるか…との考え、教養…
  - ・介護保険では、我々の専門性に **マネージメント能力** や **ソーシャルワーク能力** が試されている
- ☑ 介護予防教室でのコツ
  - ・エンターテインメント性や各自が持つ “魔法のこぼれ” が重要

6) 日光市リハビリネットワークの紹介

・我々の仲間を紹介します